

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

|        |   |      |        |
|--------|---|------|--------|
| 学校名    | 安八町立名森小学校   |      |        |
| 実施期間   | 平成26年11月20日(木)～平成26年11月26日(水)   |      |        |
| 実施概要   | ①「名森っ子交流会」(生活科・「総合的な学習の時間」の成果発表)<br>②町文化祭参加く美術作品出品(全学年)、みこし行列(3年)、クリーン活動ボランティア(希望者参加)<br>③日曜学級(親子オリエンテーリング)<br>④ひびきあい集会(全校道徳、道徳授業等公開、各学年の人権に関わる取組の発表、人権に関わる講演会「思いやり、感謝の心」)  |      |        |
| 実施内容   | 学習・取組の分野<br>■自然      ■歴史      ■文化      ■産業      ■その他  |      |        |
|        | 公開の方法<br>■授業公開   ■成果発表   ■交流活動   ■講演会等<br>■地域行事等参加   □その他   |      |        |
| 来校者数   | 保護者   | 401人 | 計 465人 |
|        | 地域関係者   | 64人  |        |
| 実施状況   | ○1年生…「あきのおもちゃ だいしゅうごう」<br>生活科の学習で秋の実を使ったあそびコーナーを設置し、近くの保育園の年長児と交流した。<br>○2年生…「動くおもちゃであそぼう」<br>生活科の学習で作ったおもちゃで1年生と交流した。<br>○3年生…「大好き!ふるさと安八」<br>校区を探検して学んだことや、テーマを決めて作成した御輿で感じたことを2年生に発表した。<br>○4年生…「蚕はかせになろう」<br>蚕の飼育や繭の選別等の活動から学んだことを、実際に使った道具を使いながら3年生に発表した。<br>○5年生…「自分達ができるエコを分かりやすく伝えよう」<br>エコをテーマに調べたことや取り組んだことを、4年生に発表した。また、自分たちのできる活動の提案をした。<br>○6年生…「心通う町、安八」<br>福祉について体験したり学んだりしたことを5年生に提案した。また、車椅子やスロープを使っでの体験活動をした。<br>各学年とも、教室やワークスペースあるいは音楽室・体育館等で、実物や自作の資料等を使って、下学年に対してプレゼンをしたり、交流活動をしたりした。保護者の方にもその様子を公開した。   |      |        |
| 成果及び課題 | ○下学年に対してプレゼンするという通して、自分達の取組を分かりやすく伝えたいという願いをもち、意欲的に活動が進められた。<br>○下学年は上級生の発表を見て、次年度の学習や活動への見通しやあこがれをもつことができた。<br>○ふるさと安八の自然や歴史あるいはエコや福祉についての理解を深めるとともに、これからの生活の中で自分達のできることをやっいていこうという意識と態度が育ってきた。<br>○保護者の方からは、子どもなりによく調べて、しっかりと発表できていたとの感想を多数いただいた。発表した子ども達、保護者の方々の感想を聞いて、取り組みへの充実感や達成感が得られた。<br>○昨年度に引き続き保育園の年長児と交流したが、当日引率してみえた保育園の園長先生からは「本当に楽しかった。小学校に早く入学したいという気持ちが高まった。」と感謝の言葉をいただいた。保小連携の立場からも来年度以降もぜひ継続して実施していきたいと考える。<br>○下学年に対しての発信をすることに重きをおいたため、通常の授業時間に保護者の自由参観の形で公開した。学年によっては参観者にばらつきがあったが、下学年の児童に分かりやすく伝えるというねらいは十分に達成でき、子ども達の達成感につながった。<br>○「ひびきあい集会」では、事故で両腕を失いながらも力強く活動していらっしゃる講師の方の話の聴き、本当の意味での思いやりや感謝の心について保護者と共に考える機会となった。 |      |        |